

令和2年度 第13回 政策推進会議報告

日 時 11月19日13時38分～14時11分

場 所 WEB会議室

出席者 15人

1 次期尼崎市議会臨時会市長提出予定案件について

総合政策局長及び資産統括局長から資料に基づき報告。

2 尼崎市版チャレンジ雇用「ハートフルオフィスUP×3」事業について

総務局長から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

- ・(市長) 各部署で障害者の方に頼める業務を出していただいて、できれば同じフロアで業務を行い、相互理解を深めていくというような働き方も積極的に推進していこうということになっている。無関係な局がない取組になると思うのでよろしく願います。
- ・非常に有意義で期待している。スキルの習得だけでなく、障害のある職員の心のメンテナンスのようなこともやっていただきながら、一緒に連携できたらと思う。
- ・(市長) 大変心強い発言をいただいた。福祉に携わる分野だけでなく、あらゆる職場で私たち職員自身の障害に対する理解もしっかり深めていくということも重視した取組となっているし、やはり当事者の方に自信を付けていただくこと、また次の一般就労の時にどんな支援や配慮があればうまくいくのかということを経験値として蓄積していくという一石三鳥を狙ったUP×3(アップスリー)という欲張りなネーミングになっている。皆さんよろしく願います。

3 その他

- 市長から、市内発砲事件への対応について説明。

(内容) 本日は森山副市長が欠席だが、県警本部への申し入れを行っている。これまでから暴力団対策法に基づく警戒区域指定をかけて県警のほうでも取組強化をさせていただいているが、今回の発砲事件は法により使用が禁止される施設ではないところで発生した。使用が禁止されない施設であっても、暴力団の事務所扱いの建物であれば、尼崎市暴力団排除活動支援基金を活用して使用差止請求などの取組を行ってきたが、居宅の位置付けだとそのような地域の自発的な取組もなかなか難しい。したがって、そういう施設についても積極的な取組ができるような検討をお願いしたいということと、また、このような状況にあっては引き続きより一層の対策をお願いしたいということを要請している。

- 市長から、新型コロナウイルス感染症への対応について説明。

(内容) 第3波が非常に厳しい状況になっており、第2波に比べても相当な患者の確認数となっている。保健所の業務の逼迫具合はご想像いただけると思うが、先日臨時の会議を行ったとおり、様々な支援事業や対策を行っていくにあたっては保健所のみならず色々な部

署で業務が逼迫している。支援を待っている市民や事業者がいらっしゃる以上、やはりそこをスピードアップしていく必要があるし、これからまた対応を強化していかないといけない分野が増えていく。そういう中で、私たちがスピード感を持ってやらないと間に合わなくなってしまうので、今一度皆さんには緊急的な状況になっているということを共通認識にさせていただいて、全庁挙げての取組を進めていきたい。別の部署へ応援に行く職員はもちろん、その留守を預かる職員にも非常に負荷がかかることになるが、それぞれの立場、色々な役割が必要となる。全ての職員が市民ファーストでしっかりと業務を進めていきたいと思うので、改めてご協力をお願いします。

以 上